高嶺小学校移転整備に関する地域説明会

第1回

令和7年8月24日㈰・27日㈬

次第

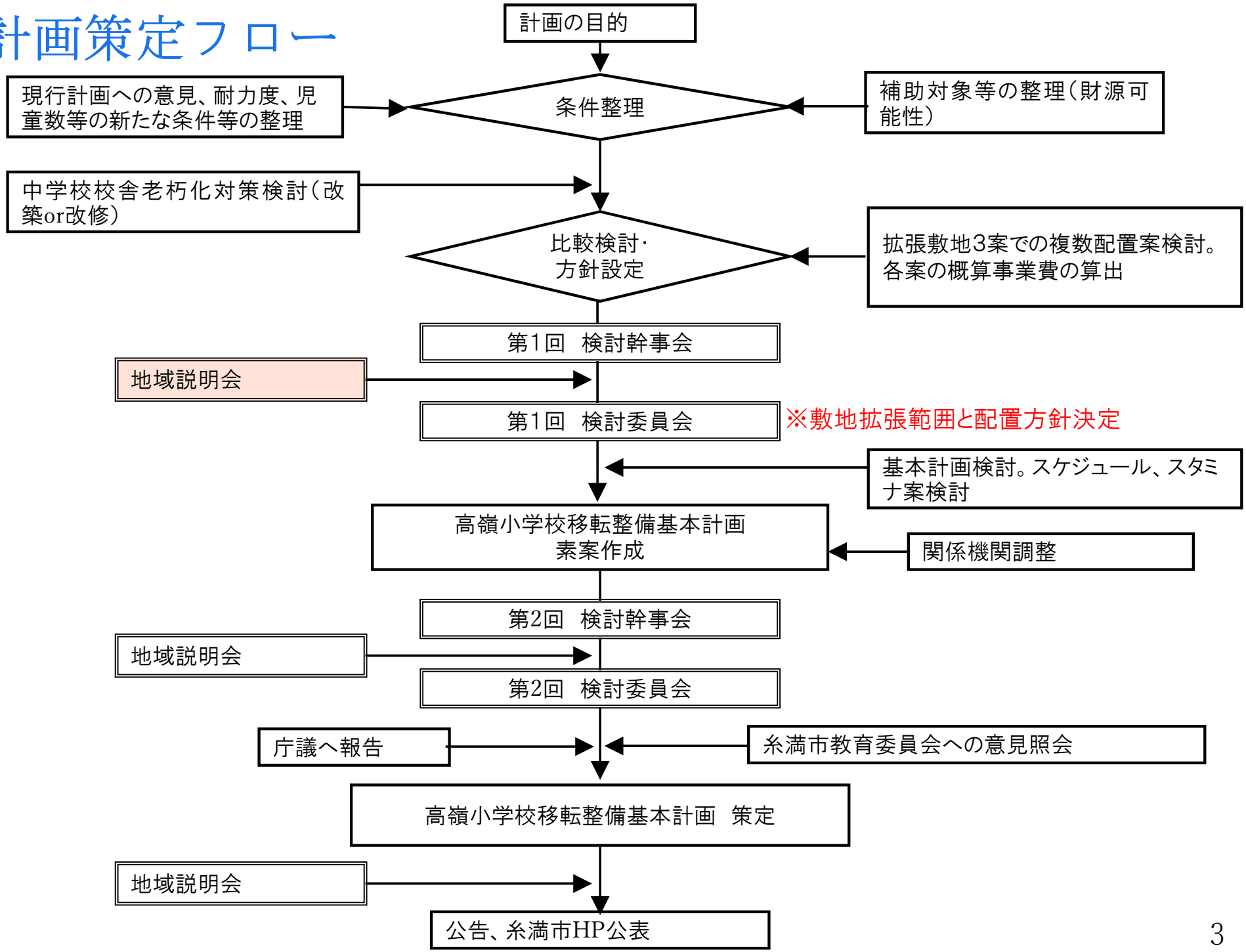
◇あいさつ

◇基本計画検討状況の説明

・計画見直し与条件の確認
・中学校校舎老朽化への対策案の検討
・拡張用地選定のための比較・評価
・今後の進め方

◇意見交換

基本計画策定フロー


計画の目的
現行計画への意見、耐力度、児童数等の新たな条件等の整理
条件整理
補助対象等の整理（財源可能性）
中学校校舎老朽化対策検討（改築or改修）
比較検討・方針設定
拡張敷地3案での複数配置案検討。各案の概算事業費の算出
第1回　検討幹事会
地域説明会
第1回　検討委員会
※敷地拡張範囲と配置方針決定
基本計画検討。スケジュール、スタミナ案検討
高嶺小学校移転整備基本計画素案作成
関係機関調整
第2回　検討幹事会
地域説明会
第2回　検討委員会
庁議へ報告
糸満市教育委員会への意見照会
高嶺小学校移転整備基本計画　策定
地域説明会
公告、糸満市HP公表

計画見直し与条件の再確認（1/2）

・適切な財源の確保

事業を円滑に進捗するため、必要なものの整備を盛り込みつつコストの合理化や国庫補助等の最大限の活用を図り、できるかぎり市の持ち出し額を抑える。

・中学校校舎老朽化（新たな条件の追加）

危険建築物と診断されたため、前倒しで対策が必要（長寿命化型、または改築(建替)型）。

さらに、南山城跡の文化財調査や保存のため移転範囲が広がる。（校舎＋体育館･プールエリア）

・児童・生徒数

将来、児童・生徒数は増加予定だが、R7年5月1日時点での「令和10年児童生徒数」をベースに施設規模を計画する。

計画見直し与条件の再確認（2/2）

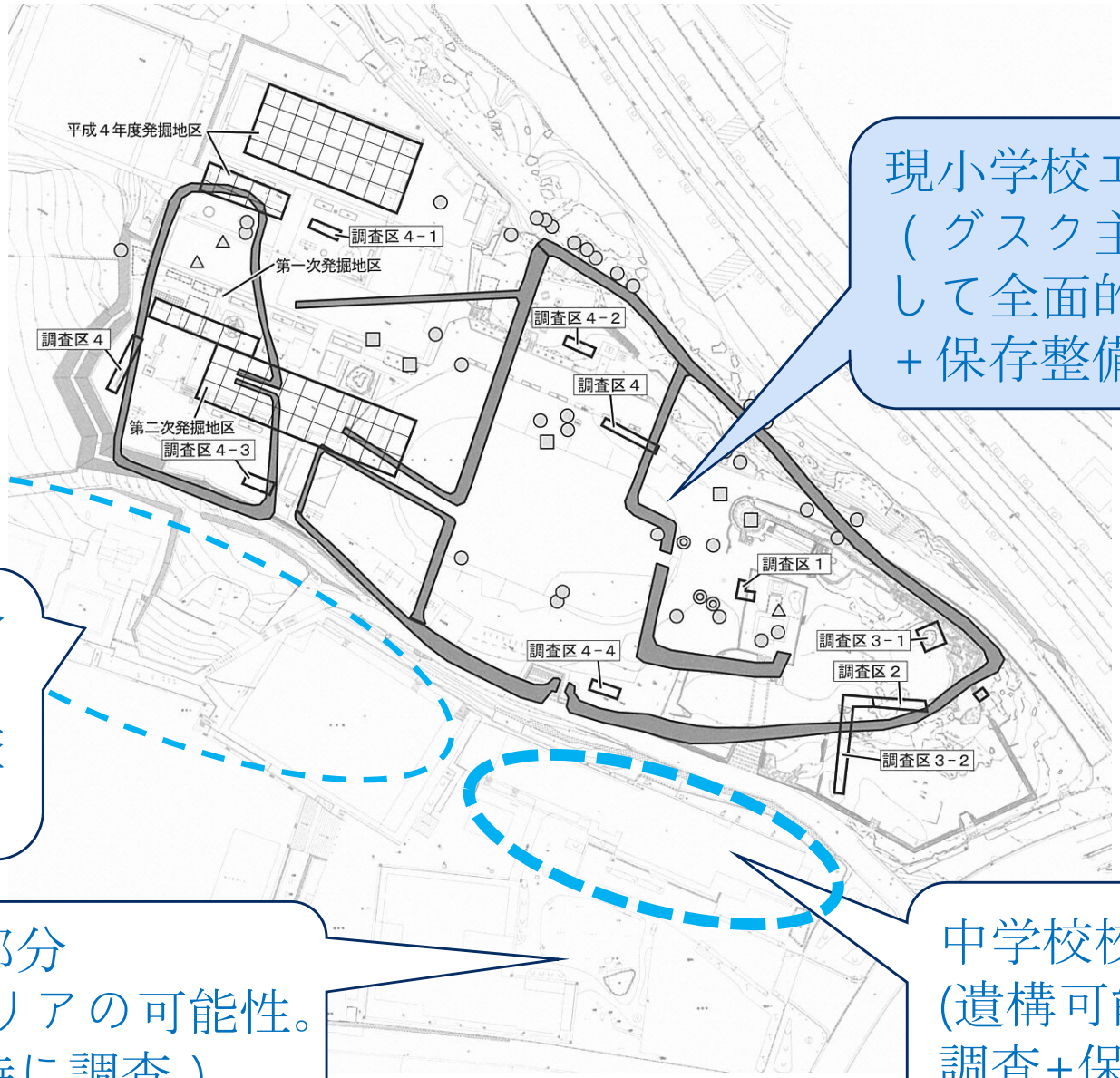
・南山城跡の調査進捗

これまでの調査で遺構の概要が把握されつつあり、現在、国指定史跡を目指している。

遺構の状況や文献調査等により、現時点においては、現中学校敷地の10号棟や12号棟、体育館辺りまで遺構の影響が及ぶのではないかと推察される。

これらのことから、将来的には現中学校敷地においても南山城跡の保存区域となる可能性が強まってきている。

南山城跡
調査状況

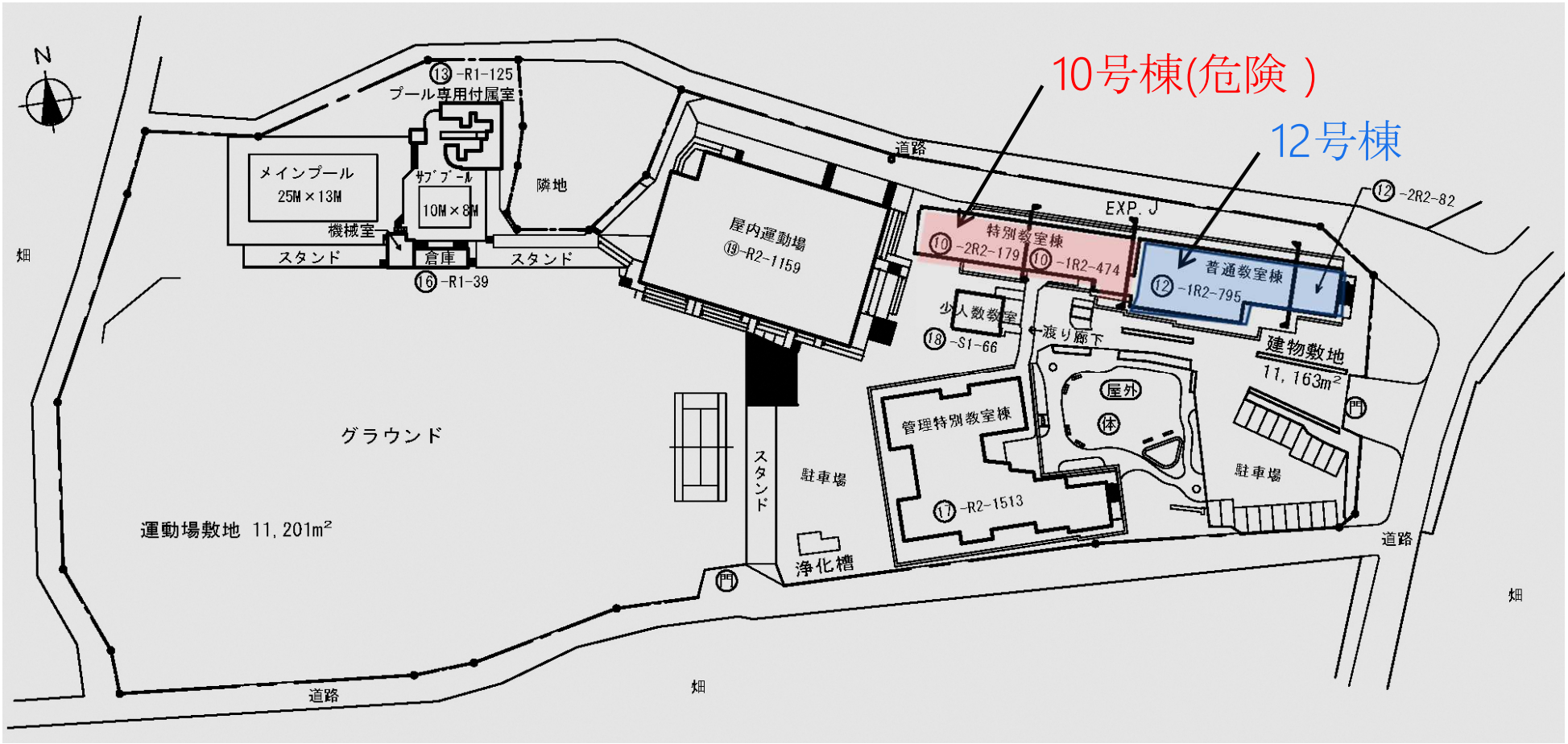


現小学校エリア
（グスク主要部として全面的に調査＋保存整備）

体育館・プール部分
(遺構可能性あり。
将来、移転時に調査し保存）

管理棟・前庭部分
(グスク関連エリアの可能性。
将来、建替え時に調査）

中学校校舎部分
(遺構可能性大。要調査+保存整備）



現高嶺中学校
全体配置図

中学校校舎老朽化への対策案の検討

・耐力度調査結果概要

対象校舎の耐力度調査結果としては、文部科学省の基準となる値より低い数値となり、構造上危険な建物となった。また、経年劣化やコンクリート爆裂等もある状態。

・耐震性能の不足

本調査にて耐震診断も実施した結果、耐震性能を満たしていない状態であることが判明。

・総合耐力度評価

耐震補強で耐震性能の改善は見込めるが、今後の長期的な継続使用に向けての大幅向上は困難。

・補修と維持管理の必要性

使用する場合、補強のほか爆裂補修も必要。その後も継続的な観察と対応が不可欠。

対策方針の検討

改修の限界

改修は長寿命化によるコスト削減が期待されるが、本件では効果が限定的。

改築のメリット

改築は工事の一本化でコスト削減が期待でき、国庫補助も活用可能。

教育環境の統合

改築により小中一貫校として校舎が一体化し、9年間の学習や活動がスムーズ。

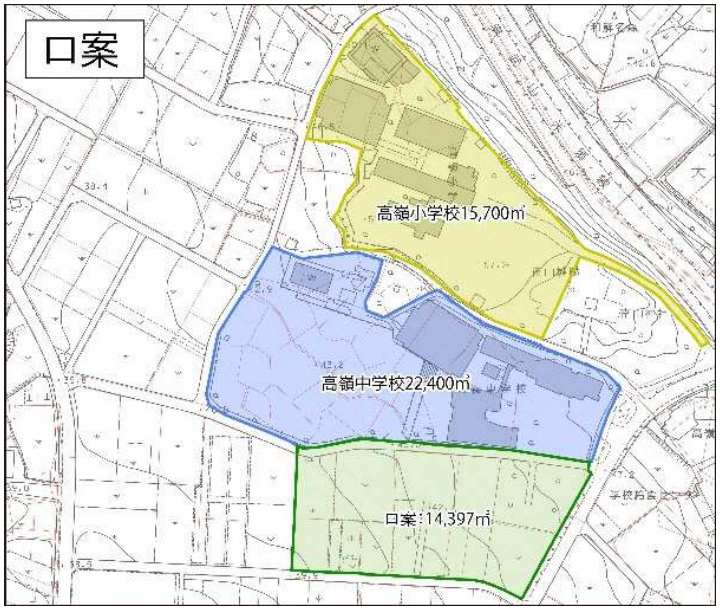
基本方針として「改築」を提案

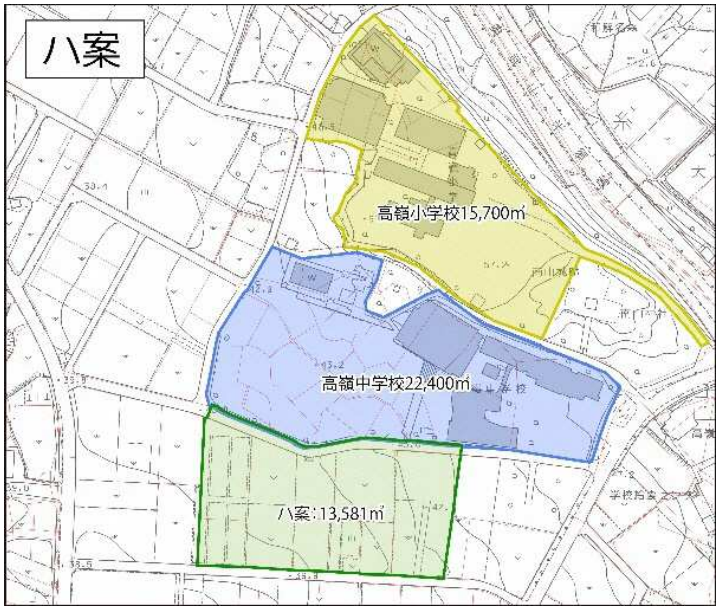
拡張用地選定のための比較・評価

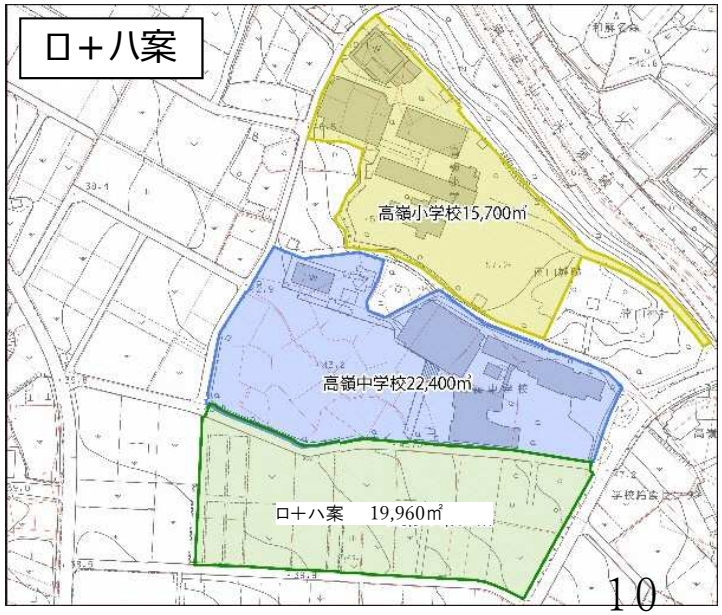
拡張敷地

ロ案、ハ案、ロ＋ハ案（南山城跡指定範囲の拡大を考慮）の基本ベースが3パターンの敷地拡張案にて比較検討対象を実施。

※前回計画では、拡張敷地はハ案となった。







拡張用地選定のための比較・評価

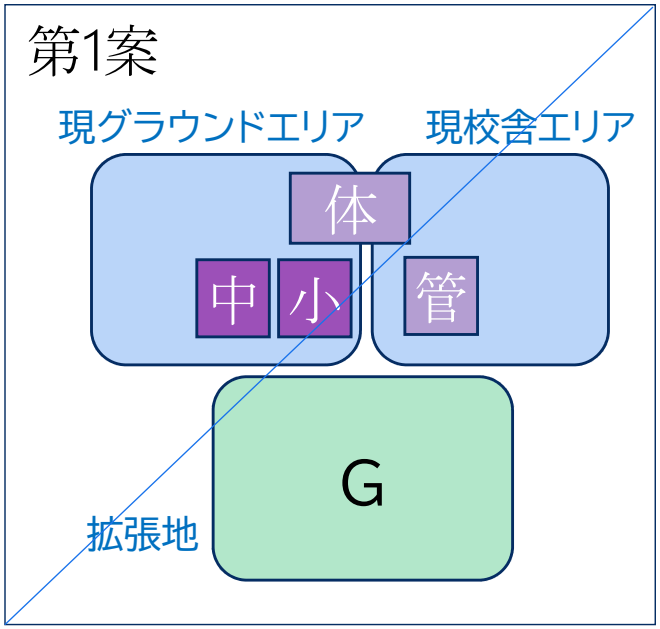
配置案

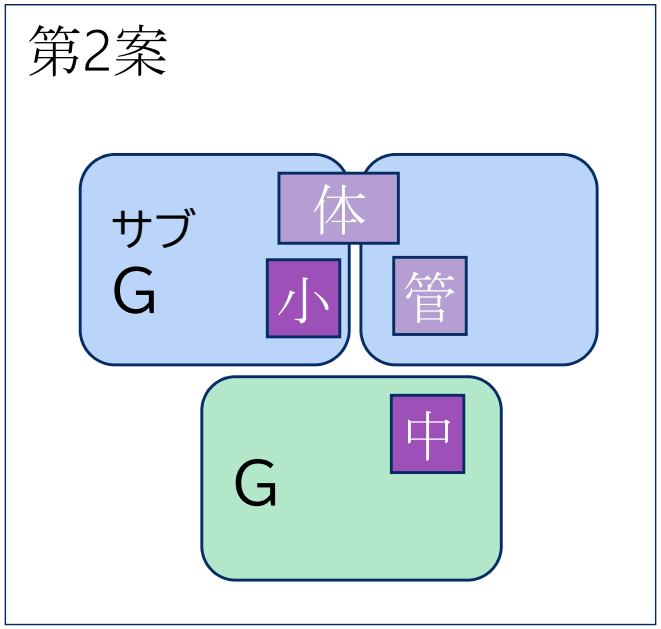
~~第1案：現グラウンドに小・中学校棟を配置。~~

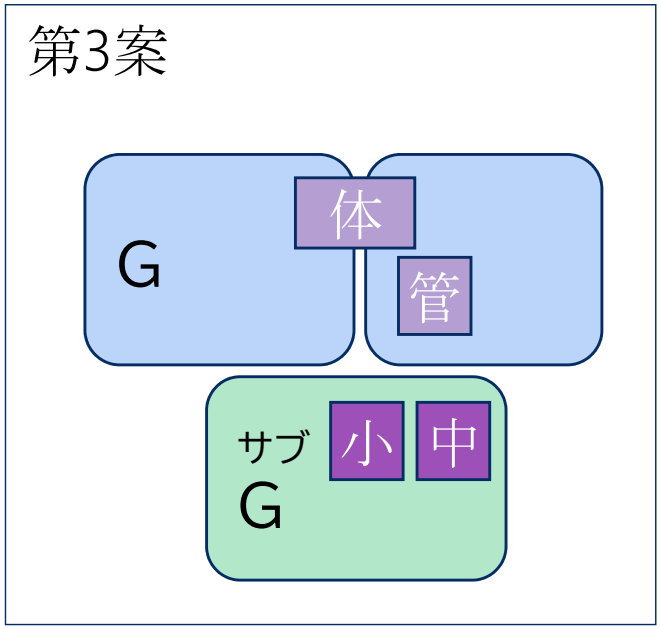
第2案：現グラウンドに小学校棟を配置。

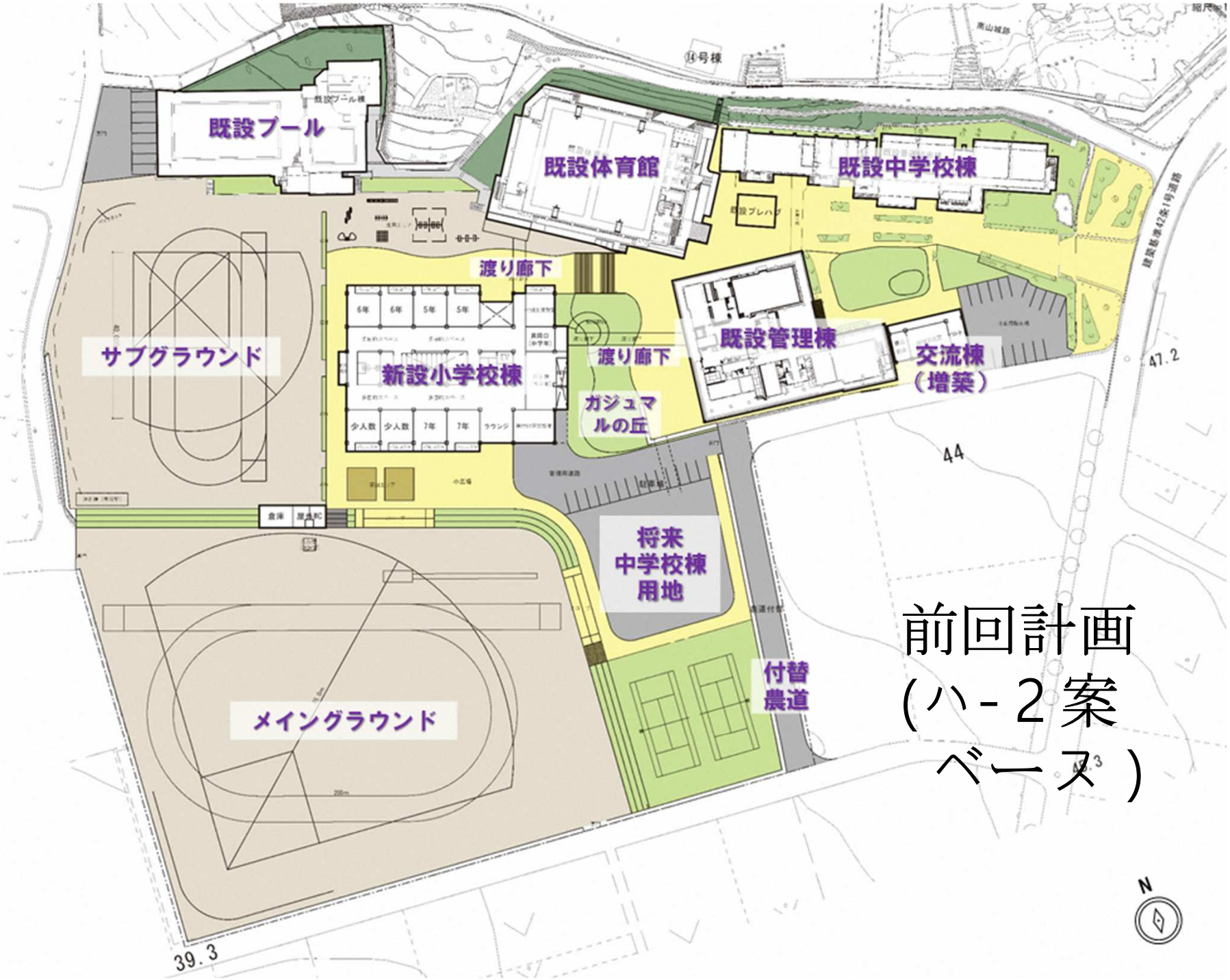
第3案：小学校棟、中学校とも拡張用地に配置。
現グラウンドは維持。

※前回計画では、配置は第2案となった。








既設プール
既設体育館
既設中学校棟
渡り廊下
サブグラウンド
新設小学校棟
渡り廊下
既設管理棟
交流棟
（増築）
ガジュマ
ルの丘
将来
中学校棟
用地
付替
農道
メイングラウンド
44
47.2
39.3
N

前回計画
（ハ-２案
ベース）

比較の視点と総合評価

配置案の方針

・今後の南山城跡の文化財調査や保存のため移転範囲が拡がったことにより、現中学校グラウンドへの建物配置が困難。

主な比較視点

・児童生徒の活動面

・管理面

・コスト（敷地に係る費用）

総合評価

・構内動線は各案大差なし

・工事中のグラウンド利用、将来建替え、コストで差

比較結果

拡張敷地：ロ＋ハ案

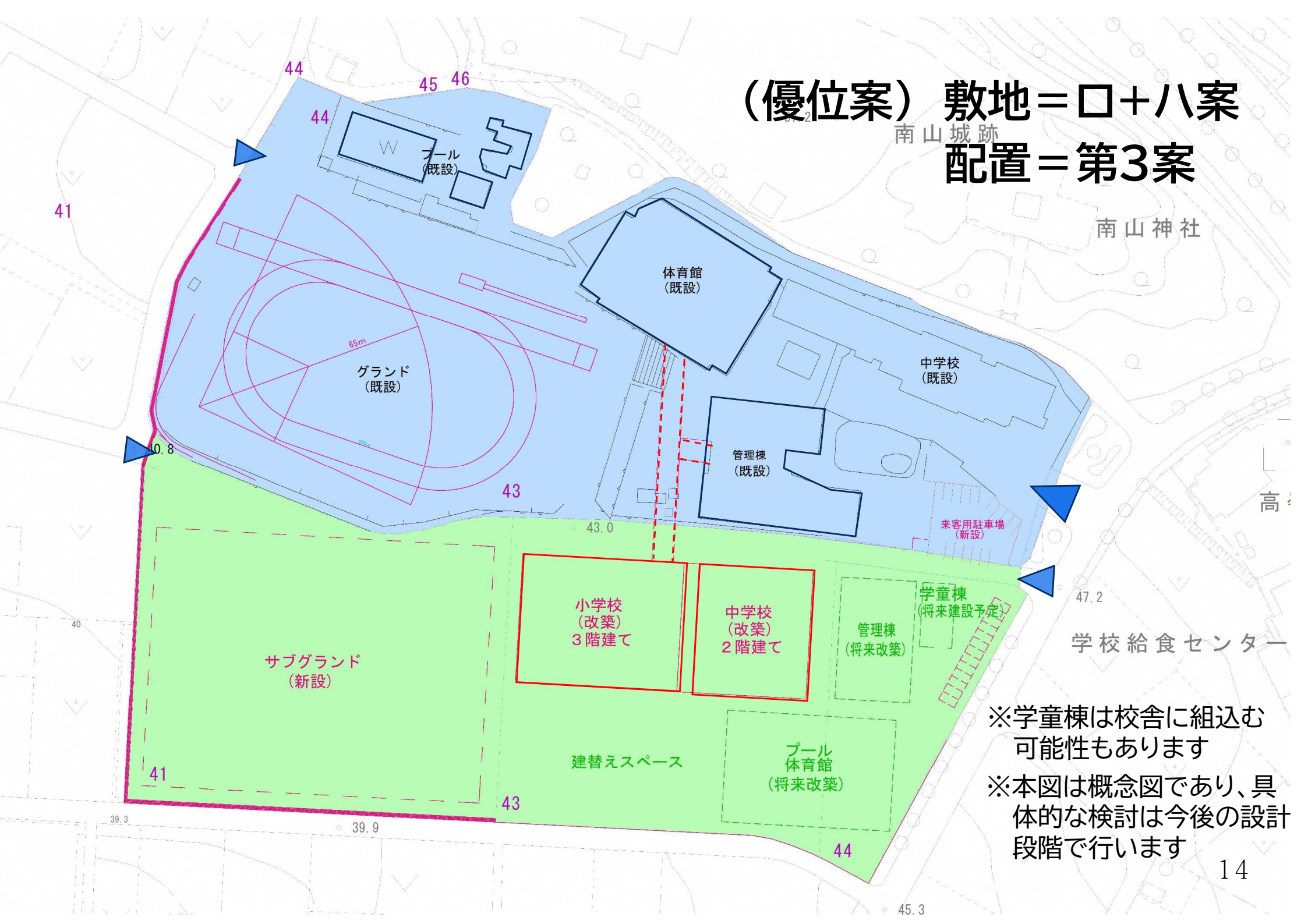
配置案:第3案(拡張用地に配置)

・グラウンドが継続使用できる

・将来の管理棟他の建て替えが容易

・コスト面で劣位でない

（優位案）敷地＝ロ＋ハ案
配置＝第3案



※学童棟は校舎に組込む可能性もあります

※本図は概念図であり、具体的な検討は今後の設計段階で行います

学童(放課後児童クラブ)の整備

学童(放課後児童クラブ)の与件

- 150㎡程度
- 学校とは別の補助事業を活用
- 単体建築でも別棟でも可

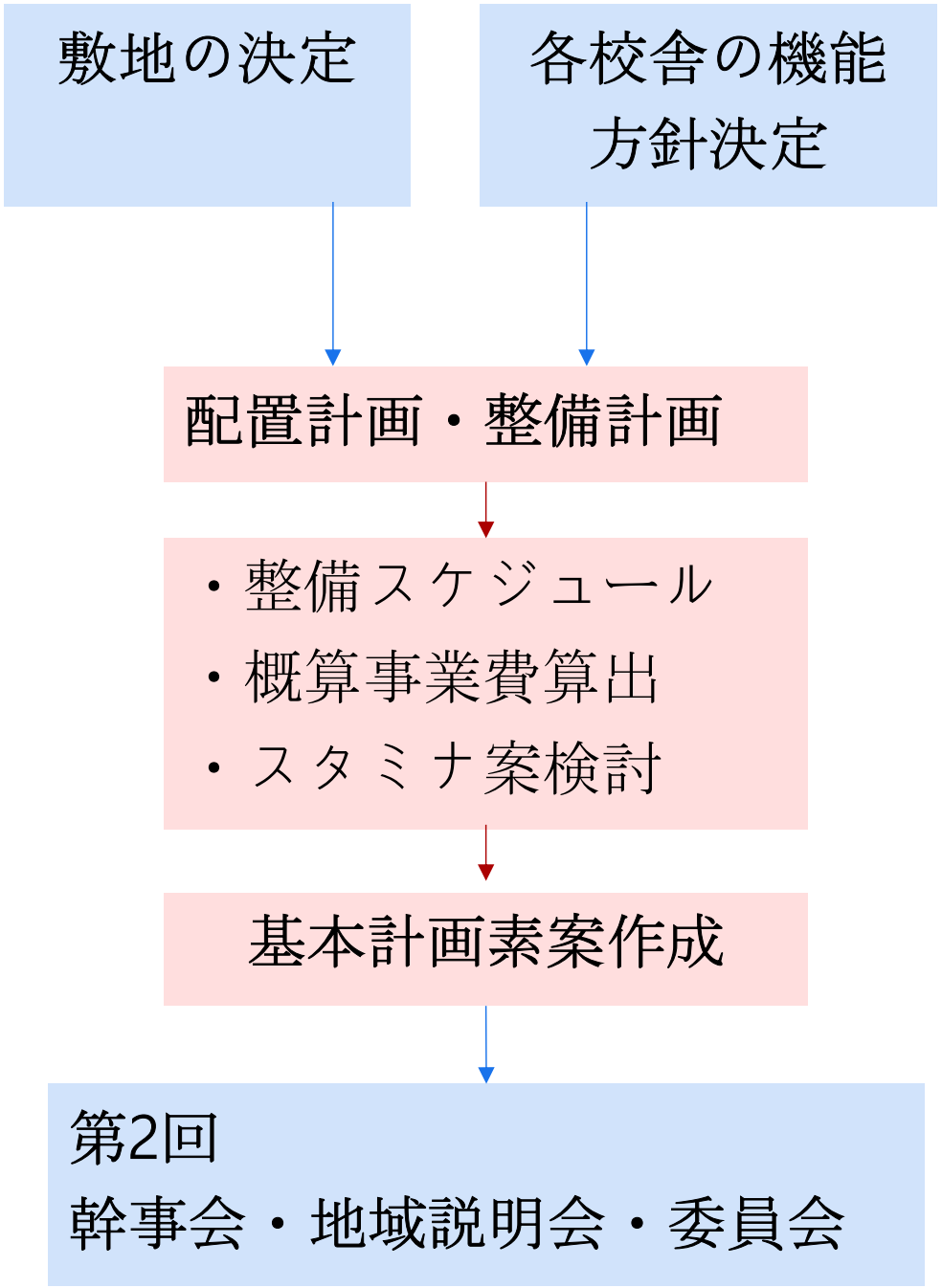
配置の考え方

- 学校施設と管理上分離
- 学童(放課後児童クラブ)は校庭・遊び場に近い位置

現在の配置図

- 学童(放課後児童クラブ)は仮に独立棟として記載

今後の進め方


敷地の決定
各校舎の機能
方針決定
配置計画・整備計画
・整備スケジュール
・概算事業費算出
・スタミナ案検討
基本計画素案作成
第2回
幹事会・地域説明会・委員会